



OKシードプロジェクト

2023年5月26日

意見書

京都府宮津市 市長 城崎 雅文 様

OK シードプロジェクト

共同代表：久保田裕子・中村陽子

ご健勝のこと、お慶び申し上げます。

さて、貴市は来る2023年6月4日に「ゲノム編集技術応用食品に係る講習会」を開催することと承知しています。当該講習会の開催趣旨は、貴市ウェブサイトの告知に「ゲノム編集技術を応用した食品をふるさと納税返礼品として登録しているところですが、この度、市民のみなさまを対象に講習会を開催します。」とあります。

一方、ゲノム編集トラフグのふるさと納税返礼品の利用に関しては、貴市の市民から貴州市議会に宛てて、安全性が明確になるまでふるさと返礼品として取り扱わないようにという請願が提出され、総務文教委員会で審議されているものと承知しています。また当会も、2023年4月18日付で城崎市長様および市議会議長宛に要望書を提出しています。

これらのことを鑑み、私たちからは、下記の意見を表明します。

1. 当該「講習会」では、講師に田部井豊氏を招聘している。田部井氏（東洋大学教授）はその経歴をみると、国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構において、遺伝子組み換えの開発研究に長らく携わってきただけでなく、政府・農林水産省を代表する立場で厚生労働省薬事・食品衛生審議会の食品衛生分科会新開発食品調査部会遺伝子組換え食品等調査会の委員となり、遺伝子組み換え生物やゲノム編集技術を安全性にも問題なしとして推進してきた当事者である。さらに「事業説明」を行うのは当事者であるリージョナルフィッシュ株式会社の代表取締役社長CEO・梅川忠典氏と取締役CTO・木下政人氏であり、この「講習会」はゲノム編集応用技術を推進する立場にいる当事者からの一方的な説明に終始することが予想される。しかし、私たちは、そもそも、ゲノム編集技術応用魚類の安全性や環境への影響に関する審議会等の安易な見解や商品化（ふるさと納税返礼品を含む）に対して疑問を抱き、地域の多面的な状況や将来を考えて、慎重な態度をとるべきであると考えている。また、現在開催中の第211回国会においても参議院農林水産委員会・厚生労働委員会、衆議院消費者問題特別委員会などでゲノム編集食品の安全性、ゲノム編集魚陸上養殖の環境等への影響、ゲノム編集トラフグのふるさと納税返礼品への指定の妥当性などを問う質疑が行われている。中立的であるべき市当局は、推進当事者が一方的に説明する「講習会」ではなく、推進することに対して慎重な意見をもつ立場の講師も登壇する形式の「意見交換会」を行うべきである。
2. 当該「講習会」では、その参加を宮津市民先着50名に限定している。しかし、ふるさと納税返礼品は宮津市民を対象としたものではない。また、リージョナルフィッシュ社の陸上養殖プラントで何らかの問題が発生した場合、その被害は宮津市内に止まらず栗田湾から若狭湾へ、場合によっては日本海へと広がる恐れがある。参加対象を宮津市民に限定せず、大規模な説明会・意見交換会を実

施すべきである。

3. 貴市が実施すべきは「講習会」ではなく、市民や国民との「意見交換」であると考えて。アリのバイ的に「講習会」を開催することは貴市の尊厳を損なう行為であることを認識し、公平・公正で開かれた意見交換の場を早急に開催することを強く望む。
4. 開かれた意見交換会を実施する場合、事前にオンライン等で質問や意見を募集し、それに答えるようにすることが望ましい。また、開催中もオンライン参加者からの質疑にも対応できるように手配すべきである。
5. 意見交換と前後して、リージョナルフィッシュ社の陸上養殖プラントの市民および報道関係者による視察を実施するよう、貴市から事業者に対して働きかけるべきである。

非営利市民ネットワーク「OKシードプロジェクト」のご紹介

遺伝子操作生物、遺伝子操作食品の無規制での流通が2021年から日本で始まったことから、それに食品表示を義務付けるよう求めるとともに、消費者の知る権利、選択の権利を守るために、遺伝子操作していない種苗・生産物・加工品に「OKシード」のマークを貼付する運動を全国的に展開している。

また、有機食品など安全安心で美味しい農林水産物と食を応援する立場から、全国の大事な動植物のタネを守り、そうしたタネから育った食品の普及と消費拡大、有機学校給食推進、地域産業振興などの取り組みも全国の連携で展開している。

共同代表 久保田 裕子(日本有機農業研究会、有機農業推進協会)

中村 陽子(メダカのがっこう)

顧問 山田 正彦(弁護士)

天笠 啓祐(日本消費者連盟、遺伝子組み換え食品いらない!キャンペーン)

河田 昌東(遺伝子組換え食品を考える中部の会)

事務局 印鑰 智哉(事務局長)、原野 好正(副事務局長)、毛利 さや佳(経理担当)、

橋本 加奈子(広報担当)

協賛団体(登録順/2023年5月26日現在)

日本有機農業研究会、メダカのがっこう、食べもの変えたいママプロジェクトみやぎ、浜松シードバンク・シードカフェ、富士山麓有機農家シードバンク、民間稲作研究所、一般社団法人NO to YES、生活協同組合連合会コープ自然派事業連合、生活協同組合あいコープみやぎ、北海道食といのちの会、NPO法人秀明自然農法ネットワーク、遺伝子組み換え食品いらない!キャンペーン、遺伝子組換え食品を考える中部の会、ミツイパブリッシング、すこやか自然農園、ガバレ農場、VERT(ヴェール)、エステ・ヒーリングサロンひなた、緑円屋、すどう農園、医療法人協和会、ハルモモファーム、veggy(キラジェンヌ株式会社)、有機無農薬の百草園、山のハム工房グローバル、鳴門魚類株式会社、ミラクル未来・ネット、葛原里山暮らし研究所、福島農民連産直農業協同組合、ナカタゲーベジガ、大佳農産、ちょっとこだわり百将屋、遠軽消費者協会、みさと屋・野菜食堂、面白札屋、一般社団法人心土不二、生活協同組合連合会アイチョイス、ノーマ農園、かふえいそぎん、げんきの市場、高林農園、ひとつぶ舎、風彩香、ハマ企画株式会社、空知の給食を考える会、市民大学 夢の種をまこう、オホーツク高橋農場、足利ワインバレープロジェクト、一般社団法人日本オーガニックレストラン協会、デザインルームナークツイン、モリエ米店、わっぱの会、ソーネ ÖZONE、佐藤牧場、愛媛有機農産生活協同組合、農事組合法人卯鼠庵、農事組合法人庄内協同ファーム、愛媛有機農業研究会、美巴合同会社、菌ちゃんふぁーむ、高祖神社青柳俊道、リーファームプラス、aimana、ひろがるチャンネル、bbwonder land、有限会社秀開発工業、ムソー株式会社、石田ファーム、お若木山自然農園、ねのひら物語、いとみんセラピー、生活協同組合コープ自然派兵庫、よしの農林業週末塾、北九州オーガニックプロジェクト、釜炒り茶柴本、環境=文化NGOナマケモノ倶楽部、和楽、合同食品株式会社

連絡先

✉ info@okseed.jp

🌐 <https://okseed.jp/>